

平成26年度12月補正予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
砂の美術館第8期展示関連事業費	鳥取砂丘・ジオパーク推進課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
42,091	平成26年～27年度				42,091	

【事業の目的】

世界初となる全天候型の砂像展示施設を整備し、4年目となる第8期展示のテーマは「砂で世界旅行・ドイツ編～中世の面影をおとぎの国を訪ねて～」。第5～7期展示の好調な美術館運営を継承しつつ、これまで以上に山陰海岸ジオパークの主要スポットとして国内外へのPRを強化し、鳥取砂丘のブランド力の向上を図り、観光客の誘致を図ることとする。

【事業の内容】

平成27年4月18日の砂の美術館第8期展示オープンに向けた諸準備を平成26年度より行う。

- 第8期展示砂像制作(彫刻家・通訳) 14,962千円
- 第8期展示砂像制作(作業員) 2,139千円
- 関連イベント開催費(内覧会・オープニング・PR映像製作、一部集客イベント) 5,055千円
- 会場演出整備 19,935千円

【これまでの関連する取組み】

平成18年度にスタートし、砂像を通じた鳥取砂丘の新たな魅力を創造する「砂の美術館」は通算来場者が200万人を超え、「砂像のまち鳥取市」を強く国内外に印象付け、地域の活性化に大きな成果をあげてきた。砂の美術館第2期展示から第7期展示についてもこれまで債務負担行為を行い、その前年度より会場整備及び展示テーマ・コンセプトの考案や広報宣伝等の事前活動を積極的に実施してきた。

- 第1期展示～第7期展示を開催(総来場者200万人突破)
- 平成24年度、世界初となる全天候型の砂像展示専門の施設を整備し、現在、第7期展示を開催中。

【今後の取組み】

12月議会で債務負担行為の議決を得た後は第8期展示オープンに向けての諸準備に着手する。第8期展示で平成27年4月18日から平成28年1月3日まで開催する。